

高松市立国分寺南部小学校の皆様が 国分寺工場を見学されました！

10月28日（火）高松市立国分寺南部小学校 第4学年147名の皆様、弊社 国分寺工場を見学されました。同じ町内ということもあり、徒歩でおいでになりました。

国分寺町は香川県のほぼ中央に位置し、盆栽の町、また錦松発祥の地とされています。町名は奈良時代に讃岐国の国分寺がこの地に置かれたことに由来します。国分寺は741年に仏教による国家鎮護のため聖武天皇の勅願によって、大仏で有名な奈良東大寺を頂点とし、全国60カ所余りに建立されました。なお、国分寺町は2006年1月10日に高松市に編入されました。

工場見学をしていただいた中で一番多かった声が「くさっ！」です。確かにくさいです。では何故くさいのかわかりますか？ においの原因の多くは食べ物の腐敗臭です。

私たちの工場では資源ごみ（再生できるゴミの総称）を扱っていますが、中には中身が入ったままのビン・缶・ペットボトル、あるいはゴミ箱代わりに使ったのでしょうか、タバコの吸い殻が入った缶などもあります。またプラスチックには食べ物が付着したままのものもたくさんあります。

ひとつひとつの量は少なくても、たくさん集まると大変な量の腐敗物で臭いもきつくなります。また汚れの酷いものはリサイクルできないものとして選別します。何故なら酷い汚れをとるためにひとつひとつ洗ってきれいにするには大変なお金と時間、そしてそれでもきれいにならなかった場合の品質への影響があるからです。

ゴミ箱に入れて終わり、資源ごみとして出して終わり、それでリサイクルできているだろう、ではなく、きれいにして出す。日頃のちょっとした心がけでリサイクルできるかどうかが変わることが伝わっていれば幸いです。終了後、皆様から大きな声で「ありがとうございました！」とお礼の言葉がありました。こちらこそ、見学して下さい、ありがとうございました。

